



名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う



令和8年 冬号

名鉄病院では特定行為研修修了看護師が活動しています



撮影:写真クラブ 前田 清隆

新たな年を迎え

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。

本年は午(うま)年となります。当院にとっても、そして皆様にとっても、馬のように軽やかに、明るく飛躍できる一年となることを心より祈念しております。

当院は、昭和29年(1954年)に中村区笹島の名古屋鉄道本社内に設置されていた診療所を、病床20床・手術室を備えた「名鉄病院」と改称した施設を母体としております。その後、名古屋鉄道健康保険組合を開設者として、昭和31年(1956年)7月13日に現在の西区栄生(当時は西区松前町)に開設されました。今年7月には、開院70周年という大きな節目を迎えます。これまで当院を支えてくださった地域の皆様、ならびに近隣の医療関係者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

さて、今年10月には愛知県においてアジア競技大会、続いてアジアパラ競技大会が開催されます。当院も医療・看護チームの一員として、微力ながら関わさせていただく予定です。大会期間中は、アジア各国から多くの競技者や関係者に加え、観光客の皆様が愛知県に集まることが予想されます。スポーツ観戦を楽しみにしている一人として、私自身も大変期待しておりますが、感染症対策はもとより、競技者や観光客のけがや体調不良などにも十分な配慮が求められると考えております。

いずれにいたしましても、本大会が安全に、そして大盛会のうちに終わることを心より祈念しております。



名鉄病院
病院長
葛谷 雅文





名鉄病院では特定行為研修

◆特定行為とは

厚生労働省の特定行為研修を受け、専門的な知識・技術を身につけた看護師だけが医師の手順書をもとに実践できる医療行為です。

特定行為の実践により、

「先生の手が離せない時に少しでも早く対応してもらいたい」

「早く元気になって家に帰りたい」

患者さま一人ひとりに合わせた幅広い要望などに看護の専門性を発揮してお応えできることを目指しています。



◆当院で行う特定行為は…

脱水や低栄養、
感染兆候に対する
点滴の臨時投与

気管カニューレ・
胃ろうカテーテル
の交換

床ずれの治療、
感染や変色した
皮膚の除去

長期間
留置可能な
点滴カテーテル
の挿入

期待される効果

適切なタイミングで
治療が可能

重症化の予防

早く退院ができる

私たちが元気になるお手伝いを
させていただきます!!



修了看護師が活動しています



◆特定行為における手順書とは

診療行為の内容のひとつひとつの“手順”が記載されたものではなく、医師又は歯科医師が看護師に診療の補助を行わせるために、その指示として作成する文書であって、「看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲」、「診療の補助の内容」等が定められているものです。具体的に、手順書の記載事項としては、以下の事項となります。

- 1.看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲
- 2.診療の補助の内容
- 3.当該手順書に係る特定行為の対象となる患者
- 4.特定行為を行うときに確認すべき事項
- 5.医療の安全を確保するために医師又は歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制
- 6.特定行為を行った後の医師又は歯科医師に対する報告の方法

※厚生労働省「看護師の特定行為に係る研修機関拡充支援事業」より

特定行為メンバー紹介



布目看護師

医師から依頼のあった方にPICCを挿入しています。毎週、固定方法や管理についてのラウンド、その他の行為へも活動の範囲を広げているところです。



櫻井看護師

嚥下機能評価を実施しながら、脱水や低栄養にに関して、医師や栄養士、薬剤師、検査技師と協働して点滴投与内容の検討や経口摂取の支援をしています。



小野看護師

褥瘡ラウンドに参加し医師やWOCと協働しながら壞死組織の除去を行いつつ、摂食嚥下の知識を生かし栄養管理もしています。



児玉看護師

感染コントロールのため医師や薬剤師と検査データや全身状態の評価を行っています。今後、抗菌薬の投与へも活動の範囲を広げていくために奮闘中です。

【特定行為管理委員会】

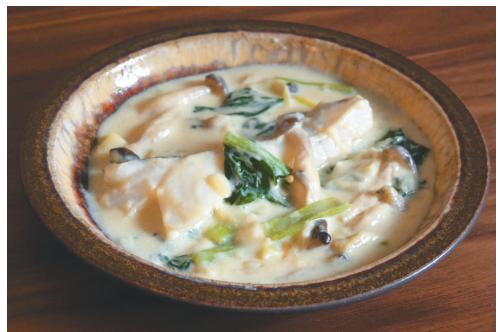
当院では2024年度より医師、事務部、看護部長、診療看護師、特定行為研修修了者で構成された特定行為管理委員会を発足して特定行為活動を本格的に開始しています。特定行為・特定行為修了者の実践の周知と、医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト/シェアの推進や、患者へのタイムリーに適切な医療を提供するための活動における管理と評価を目的とし、患者さま一人ひとりに合わせた幅広い要望に対して、看護の専門性を発揮してお応えできることを目標としています。

栄養士の紹介する 健康によいレシピ



たらと冬野菜の豆乳クリーム煮

冬に旬を迎えるたらは高たんぱく・低脂肪で体に負担をかけにくく、冬の健康維持に役立ちます。さらに小松菜に多く含まれるビタミンAは粘膜のバリア機能を高め、ネギに多く含まれるビタミンCは免疫力アップにつながるため、体調を崩しやすい冬にぴったりです。また、クリーム煮として牛乳ではなく豆乳を使用しているので、コレステロールの気になる方にも優しい1品です。



【作り方】

- ①真だらは水けをふき、塩をふる。小松菜は5センチ程に切る。ねぎは斜め薄切りにする。ぶなしめじは根元を切ってほぐす。
- ②フライパンにアルミ箔を敷いてオリーブオイルを熱し、真だらを並べ入れて中火で両面を2分ずつ焼き、アルミ箔ごとたらを取り出す。
- ③フライパンにバターを熱し、ねぎを炒める。ぶなしめじと小松菜を加えてさらに炒める。しなりしたら小麦粉をふり入れ、粉っぽさがなくなるまで炒める。豆乳とAを加え、ときどき混ぜながら3分ほど煮る。
- ④たらを戻し入れ、さらに2分ほど、ときどき混ぜながら煮る。

【材料4人分】

| | |
|----------|--------|
| ●真だら切身 | 2切れ |
| ●塩 | 小さじ1/2 |
| ●オリーブオイル | 大さじ1 |
| ●小松菜 | 70g |
| ●ねぎ | 30g |
| ●ぶなしめじ | 1/3パック |
| ●無調整豆乳 | 300ml |
| ●小麦粉 | 大さじ1 |
| ●コンソメ | 小さじ1 |
| 【A】●塩 | ひとつまみ |
| ●こしょう | 適量 |
| ●バター | 15g |



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11
URL <https://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 0570-023100 (ナビダイヤル)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

| 病床数 | | | |
|----------|-------------|--|--|
| HCU | 12床 | | |
| 一般病床 | 321床(7:1看護) | | |
| 地域包括ケア病床 | 40床 | | |
| 合計 | 373床 | | |

診療科目

| | | | | |
|-------------|---------|-----------|--------|--------|
| ●内科 | ●循環器内科 | ●腎臓内科 | ●消化器内科 | ●呼吸器内科 |
| ●脳神経内科 | ●血液内科 | ●内分泌・代謝内科 | ●透析内科 | ●老年内科 |
| ●小児科 | ●小児漢方内科 | ●外科 | ●消化器外科 | ●整形外科 |
| ●リハビリテーション科 | ●女性泌尿器科 | ●脳神経外科 | ●婦人科 | ●皮膚科 |
| ●泌尿器科 | ●耳鼻咽喉科 | ●耳鼻咽喉科 | ●眼科 | ●形成外科 |
| ●血管外科 | ●麻酔科 | ●放射線科 | ●病理診断科 | ●リウマチ科 |

診療センター

| | | |
|-------------------|--------------|------------|
| ●内視鏡センター | ●認知症疾患医療センター | ●糖尿病センター |
| ●関節鏡・スポーツ整形外科センター | ●ウロギネセンター | ●予防接種センター |
| ●健診センター | ●透析センター | ●中耳サージセンター |
| | | ●睡眠障害センター |

専門外来 ※予約制 (一部を除く)

| | | |
|------------------|------------|-------------------|
| ●禁煙外来 | ●リウマチ膠原病内科 | ●スポーツ内科(他院から紹介のみ) |
| ●フレイル・ロコモ外来 | ●ペースメーカー外来 | ●肝臓外来 |
| ●シルバーカクリニック | ●インスリン導入外来 | ●糖尿病眼合併症外来 |
| ●糖尿病透析予防外来 | ●フットケア外来 | ●乳児健診 |
| ●小児慢性疾患外来 | ●乳腺外来 | ●ストーマ外来 |
| ●関節鏡外来 | ●スポーツ外来 | ●音声外来 |
| ●小児整形外来(月1回・不定期) | ●女性泌尿器科外来 | ほか |



1号館前の名鉄病院駐車場について
平日7時～17時の利用で、来院の方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引認証を受けてください。
(名鉄病院北Pは割引認証しなくとも、割引サービス後の料金です。)
また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部総務課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711